## PATENT COOPERATION TREATY

## **PCT**

## INTERNATIONAL PRELIMINARY REPORT ON PATENTABILITY

(Chapter I of the Patent Cooperation Treaty)

(PCT Rule 44bis)

Applicant's or agent's file reference FP2004-060WO	FOR FURTHER ACTION	See item 4 below					
International application No. PCT/JP2004/008348	International filing date (day/month/year) 15 June 2004 (15.06.2004)	Priority date (day/month/year) 19 June 2003 (19.06.2003)					
International Patent Classification (8th edition unless older edition indicated) See relevant information in Form PCT/ISA/237							
Applicant ARKRAY, INC.							

1.	This international preliminary report on patentability (Chapter I) is issued by the International Bureau on behalf of the International Searching Authority under Rule 44 bis.1(a).						
2.	This REPORT consists of a total of 4 sheets, including this cover sheet.						
	In the attached sheets, any reference to the written opinion of the International Searching Authority should be read as a reference to the international preliminary report on patentability (Chapter I) instead.						
3.	This report contains indications relating to the following items:						
	Box No. I	Basis of the report					
	Box No. II	Priority					
	Вох №. Ш	Non-establishment of opinion with regard to novelty, inventive step and industrial applicability					
	Box No. IV	Lack of unity of invention					
	Box No. V	Reasoned statement under Article 35(2) with regard to novelty, inventive step or industrial applicability; citations and explanations supporting such statement					
	Box No. VI	Certain documents cited					
	Box No. VII	Certain defects in the international application					
	Box No. VIII	Certain observations on the international application					
4.	4. The International Bureau will communicate this report to designated Offices in accordance with Rules 44bis.3(c) and 93bis.1 but not, except where the applicant makes an express request under Article 23(2), before the expiration of 30 months from the priority date (Rule 44bis.2).						
		Date of issuance of this report 19 December 2005 (19.12.2005)					

Authorized officer

Telephone No. +41 22 338 90 90

Yoshiko Kuwahara

Facsimile No. +41 22 740 14 35 Form PCT/IB/373 (January 2004)

The International Bureau of WIPO 34, chemin des Colombettes 1211 Geneva 20, Switzerland

発信人 日本国特許庁 (国際調査機関)

出願人代理人	REC'D 2 2 JUL 2004					
吉田 稔						
あて名	WIPO PCT					
T 543-0014	PCT 国際調査機関の見解 <del>售</del>					
   日本国大阪府大阪市天王寺区玉造元町2番3	(法施行規則第40条の2)					
2-1301	[PCT規則43の2.1]					
	発送日 (日. 月. 年) 20. 7. 2004					
出願人又は代理人	A後の工作されていては、下の 6 もかできる。					
の書類記号 FP2004-060WO	今後の手続きについては、下記2を参照すること。					
国際出願番号 PCT/JP2004/008348 (日.月.年) 15	優先日 .06.2004 (日.月.年) 19.06.2003					
	. 06. 2004 (日.月.年) 19. 06. 2003					
国際特許分類 (IPC)						
Int. Cl' G01N27/327, G01N27/	'28, G01N33/48, G01N33/50					
出願人 (氏名又は名称)						
アークレ	イ株式会社					
1. この見解書は次の内容を含む。   X						
第Ⅱ欄 優先権	Table like to a second of the second of					
第三欄 新規性、進歩性又は産業上の利用同 第IV欄 発明の単一性の欠如	」能性についての見解の不作成					
	7 fr. 10 11. 16 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15					
それを駆付けるための文献及び説明	る新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、					
□ 第VI欄 ある種の引用文献						
第VI欄 国際出願の不備	·					
■ 第Ⅷ欄 国際出願に対する意見						
	·					
2. 今後の手続き						
国際予備審査の請求がされた場合は、出願人がこの国際語際予備審査機関がPCT規則66 102(1)の規定は共ずい	周査機関とは異なる国際予備審査機関を選択し、かつ、その国					
際予備審査機関がPCT規則66.1の2(b)の規定に基づいて国際調査機関の見解書を国際予備審査機関の見解書とみなさない旨を国際事務局に通知していた場合を除いて、この見解書は国際予備審査機関の最初の見解書とみなされる。						
この見解書が上記のように国際予備審査機関の見解書とみなされる場合、様式PCT/ISA/220を送付した日か						
63月又は優先日から22月のうちいずれか遅く満了する期限が経過するまでに、出願人は国際予備審査機関に、適当な場合は補正告とともに、答弁告を提出することができる。						
さらなる選択肢は、様式PCT/ISA/220を参照すること。						
3. さらなる詳細は、様式PCT/ISA/220の備考を参照すること。						
見解告を作成した日						
02.07.2004						
名称及びあて先 特許庁密査官(特限のおる時間) 2.1、2.0.1.0						
日本国特許庁(ISA/JP) 特許庁審査官(権限のある職員) 2 J 3 0 1 C 2 J 3 0 1 C						
郵便番号100-8915						
東京都千代田区霞が関三丁目4番3号	話番号 03-3581-1101 内線 3251					

様式PCT/ISA/237 (安紙) (2004年1月)

			国际山嶼省方	PCT/JP2004/00834			
第1欄 見解の基礎							
1. この見解書は、	下配に方	<b>デす場合を除くほか、国際出願の</b> 首語を基	<b>基礎として作成さ</b>	された。			
この見解書は それは国際調	、 <u></u> 査のた	語による翻訳文を基礎と めに提出されたPCT規則12.3及び23.1	として作成した。 (b)にいう翻訳が	ての言語である。			
2. この国際出願で限 以下に基づき見解	見示され <b>7</b> 書を作	ルかつ請求の範囲に係る発明に不可欠なゞ ■成した。	スクレオチド又は	はアミノ酸配列に関して、			
a. タイプ		配列妻					
,		配列表に関連するテーブル					
b. フォーマット		書面					
		コンピュータ読み取り可能な形式					
c. 提出時期		出願時の国際出願に含まれる					
		この国際出願と共にコンピュータ読み取	負り可能な形式に	こより提出された			
		出願後に、調査のために、この国際調査	E機関に提出され	it.			
3. ( ) さらに、配列 た配列が出願 あった。	表又は 時に提!	配列表に関連するテープルを提出した場 出した配列と同一である旨、又は、出願	合に、出願後に 時の開示を超え	提出した配列若しくは追加して提出し る事項を含まない旨の陳述書の提出が			
4. 補足意見:							
			•				
ı							
		·					
				İ			

第V欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についてのPCT規則43の2.1(a)(i)に定める見解、 それを裏付る文献及び説明 1. 見解 新規性 (N) 請求の範囲 9-12, 14-20請求の範囲 ~ 1-8, 13 進歩性(IS) 請求の範囲 10-12, 14-20請求の範囲 1-9, 13· 産業上の利用可能性 (IA) 請求の範囲 請求の範囲

## 2. 文献及び説明

文献1:WO 02/32559 A(Inverness Medical Limited)2002.04.25

文献2: JP 8-320304 A(松下電器産業株式会社)1996.12.03 & EP 7

32406 A

請求の範囲1乃至4に係る発明は、国際調査報告で引用された文献1のFig.1、文献2の図1に記載されているので、新規性、進歩性を有しない。

請求の範囲5万至8,13に係る発明は、国際調査報告で引用された文献1のFig.1に記載されているので、新規性、進歩性を有しない。また、規制縁の形状は当業者適宜決め得る事項に過ぎないので、請求の範囲9に係る発明は、文献1により進歩性を有しない。

請求の範囲10-12, 14-20に係る発明は、国際調査報告に引用された何れの文献にも記載されておらず、当業者にとって自明なものでもない。